

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	ブライツ保育園横浜綱島
経営主体(法人等)	社会福祉法人 済聖会
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒223-0058 横浜市港北区新吉田東1丁目6-26
設立年月日	平成29年4月1日
評価実施期間	令和元年7月 ～令和2年1月
公表年月	令和2年 3月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
<p>【施設の特色】</p> <p>・立地および施設の概要 「ブライツ保育園横浜綱島」は名古屋市に本部を持つ社会福祉法人済聖会が経営する保育園で、平成29年4月に開園しました。現在、0歳児から5歳児まで、53名（定員60名）が在籍しています。東急東横線綱島駅からバスを利用し、「新田中学校前」下車徒歩1分の住宅地にあります。近隣には大規模なマンションが開発されている一方で、園の周囲には昔ながらの静かな街並みが残っており、竹林・果樹・畑など自然に恵まれた環境の中にあります。園舎は木造2階建てで、園庭（195㎡）が南側にあるため、採光は十分で、室内は木を多用した清潔で温かな雰囲気です。</p> <p>・園の特徴 保育理念は「『生きる力』（ひとりで世の中を渡っていく力）の基礎をつくる」です。職員は、子どもがその子らしく伸びていくための4つの関わりとして、「認める」「見守る・待つ」「見つける」「仕掛ける」を大切にしています。子どもの興味に寄り添い、共感し、子どもが、何がしたいのかをくみ取って指導計画に反映しています。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1. 子どもの興味・関心を大切にされた保育展開 職員からテーマを与えるのではなく、自然と子どもが興味を持って取り組むような仕掛けづくりをしています。職員が散歩の途中で出会う植物の写真を撮り、年長児の保育室に並べて掲示したことで、子どもたちが自分から植物の名前を図鑑で調べ出し、次年度の年長クラスにプレゼントするための図鑑づくりに発展しています。自由遊びの時間にはままごと、机上あそび、構成あそびの3拠点を設置し、子ども自らが自由に遊びを選択できるようにしています。5歳児の希望で0歳児の授乳を体験しました。事前に0歳児クラスの保護者全員の同意を得て、多くの職員の介助のもと授乳を体験しました。命の大切さや小さなものをいたわる気持ちを学ぶ機会になりました。</p> <p>2. キャリアパス計画と研修計画に沿った研修の推進 園独自の「2019年度ブライツ保育園綱島キャリアパス計画」を作成し、年間研修計画を立てて、人材の育成を進めています。園内研修・外部研修・法人研修・エリア研修を実施しています。 園内研修は、非常勤職員も参加して、嘔吐処理・エピペンの使い方、安全な散歩経路、AEDの使い方などをテーマとして行い、横浜市や港北区などの外部研修では、衛生管理、感染症、保育現場のリスク対応などについて学んでいます。年2回開催の法人研修では、外部講師による自己肯定感、リスクマネジメントについて受講しています。また、名古屋工芸大の外部講師を招き、「遊び保育論」というテーマで設</p>	

置法人の近隣系列園と合同で法人内エリア研修会を開き、日常の保育で実践しています。

3. 豊富で丁寧な食育活動

0歳児から発達に応じて食育年間計画表を立て、食に関心をもてるようにしています。3歳から配膳と片付け、4歳からは給食当番を設け、5歳児クラスの給食当番は毎日、当日の献立を3つの食品群に分けて発表しています。食への関心をもてるように、子どもの発達に合わせて、野菜スタンプ、小麦粉粘土、野菜の皮むきなどの食育プログラムを実施しています。

調理室前に牛乳パック製の手作り階段が設けられ、子どもたちが調理の様子をガラス越しに見学できるようになっています。数人が並んで見学できるため、「にんじんを切っているね」「今日はカレーかな？」など子ども同士の会話が生まれています。日常的に調理の様子を見ることで、保育室でもままごと遊びがより具体的になったり、食への関心が高まる契機になっています。

絵本「そらまめくんのベッド」をヒントに、職員がそらまめ、さやえんどう、ピーナッツなど絵本に出てくる様々な豆を準備し、子どもたちが実際に見て、触って確かめる「まめくらべ」を楽しみました。

4. 「チームメンバーハンドブック(職員マニュアル)」と園独自のマニュアルの活用

設置法人には「保育園業務マニュアル」を要約した「チームメンバーハンドブック」があり、入職後、非常勤職員を含め、職員全員に配付し、職員マニュアルとして活用しています。理念・方針、マナー・身だしなみなど、新人研修、職員研修のほか、日頃の行動の振り返りの手引きとして活用しています。また、職員が外部研修を受講して、その研修内容をもとに、園の現状に則した独自の「横浜綱島マニュアル」を作成しています。各クラスにマニュアルを常備し、園内研修やミーティングの際に活用し、これに沿って保育の安全管理や衛生管理にあたっています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 地域への子育て支援サービスの提供

本園は開設後日が浅いこともあり、園で一時保育の受け入れを行っていることが近隣住民に十分周知されていません。一時保育の募集について、園の外壁に掲示したり、町内会の回覧板などを通じてアナウンスし、一時保育を受け入れていくことが期待されます。また、地域における育児支援の中核として、現在検討中の園庭開放・育児相談・育児講座が実現できるように、職員間で話し合いを重ねていくことが期待されます。

2. 苦情受付体制の確立

園単独で解決できない苦情や課題に対しては、他の関係機関と連携・協同して取り組むことが重要です。重要事項説明書や苦情対応マニュアルの中に外部の権利擁護機関や行政の窓口などに相談できることを盛り込むことが期待されます。また、現在の第三者委員(3名)は、名古屋市在住の設置法人の関係者で、保護者は第三者委員に相談する場合、遠隔地に電話連絡しなくてはなりません。保護者の立地に配慮した選定が求められます。

評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

・職員同士、昼ミーティングなどで、子どもに対する言葉遣いなど、お互いに指摘し合えるような信頼関係の上で、保育を進めており、子どもに対する威圧的な言葉は厳禁としています。子どもの人格を辱めるような罰や自尊心を傷つけるような保育は、子どもが心身共に健やかに育つためには、決してあってはならないことを、各種の内部研修、外部研修を通じて、全職員は認識しています。

・「チームメンバーハンドブック」を職員全員に配付し、記載された守秘義務に関する個人情報の保護について周知徹底しています。保護者には入園説明会において、「入園のしおり」などを利用して説明し、子どもの写真の取り扱いに関しての同意を得ています。園では個人情報を含むあらゆる情報も、USBなどを使って外部に持ち出すことを禁じており、また、個人情報は鍵の掛かるロッカーに夜間は収

	<p>納しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待に関しては職員会議などで毎年テーマとして取り上げて、何が虐待に当たるかなど討議しています。予兆発見を第一として、子どもの着替え時の観察などで異常がないかなど、また、保護者への声かけにより信頼関係を深めるように注力しています。疑義が生じた場合には、速やかに関係機関に連絡する体制にあります。
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画は保育理念や保育方針に沿って、地域の状況や特色を生かし、全職員の意見をもとに作成しています。 ・指導計画は、一人一人の発達や成長に合わせて策定し、実践に当たっては、子ども一人一人との関わりを大切に、職員は子どもの様子をよく観察して、絵や写真を用いて説明するなど、子どもが理解しやすい工夫をしています。言葉で表現できない乳児でも、表情を見て話しかけながら対応しています。話せる子どもにはじっくり意向を聞く姿勢を大切にしています。 ・園では衛生管理マニュアルに基づき保育室、沐浴設備、トイレ、階段などの掃除や消毒をおこない、清潔を保ち、清掃チェック表をつけ、漏れがないよう管理しています。 ・各保育室には低い収納棚を設置し、子どもがおもちゃを自由に取り出せるようにしています。ケースの前にはおもちゃの写真や種類を書いた紙を貼り、自分で片付けやすい工夫をしています。子どものあそびの様子を見ながらおもちゃの種類や量を変更しています。 ・お散歩マップをエントランスに掲示しています。乳児は芝生の公園でハイハイしたり、幼児は土手で段ボール滑りをするなど、自然に触れる機会を多く持っています。公園遊びには各自が牛乳パックで作ったバッグを持参し、見つけた葉っぱなど持ち帰っています。 ・年齢に合わせてリズム遊びをとりいれています。様々なブロックや積み木が用意され、各自が自由に表現しています。 ・園庭でチューリップ・イチゴ・キュウリ・ジャガイモ・ナス」などを栽培し、子どもたちと収穫しています。開園以来カブトムシの飼育を続けています。 ・0～2歳児クラスの懇談会では、発達の特徴やかみつきについてのプリントを配布、説明し、保護者の理解を得ています。職員は毎日のミーティングや引き継ぎで一人一人の発達について情報共有し、かみつきなどの事故を未然に防ぐようにしています。 ・食事は楽しく食べることを第一に考えています。家庭と連携しながら食事の量を調節し、苦手なものを食べられたときには職員が十分にほめたり、励ましながら見守っています。 ・設置法人4園で献立開発チームを結成し、各園からアイデアを持ち寄っています。5月にはいちごの鯉のぼりケーキや春巻きの皮のかぶと、クリスマスはサンタクロースのケーキ、節分の鬼ハンバーグなど季節の行事メニューに目を楽しませる多くの工夫があります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児突然死症候群の対策としてあおむけ寝を徹底し、0歳児は5分、1、2歳児は10分毎の呼吸チェックを行い、記録しています。 ・トイレトレーニングは無理せず、一人一人の発達に合わせて行っています。おもらしの際は子どもに「失敗しても大丈夫」と伝え、ミーティングでも心を傷つける対応をしないことを確認しています。 ・長時間保育の子どもに対しては、保育室にままごと、机上遊び、構成遊びの3拠点を設置し、子ども自らが自由に遊びを選択できるようにしています。特に夕方は家庭のような雰囲気、子どもが自由に過ごせるようにしています。
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ならし保育は「無理なく保育園に慣れ、心身ともに疲れさせない」という目的で行うことを保護者に説明しています。通常は5日間ですが、子どもの様子を見ながら、ゆっくり進める場合があることも伝えています。 ・0～2歳児は月間個別指導計画があり、毎月の「評価・反省・子どもの姿」を個人別に記載し、保育士の「自己評価」も記入して指導計画を見直しています。 ・配慮を要する子どもについては、保護者の承諾を得た上で、横浜市総合リハビリテーションセンターの巡回指導を受けて、助言をもらい、個別指導計画を策定し、保育に当たっています。 ・アレルギー児に関しては、かかりつけ医より「保育所等における食物アレルギー疾患生活管理指導表」を作成してもらい、園はその指示を受けて、食品の除去・代替をおこなっています。また、12か月ごとに再評価を行っています。 ・相談・苦情受付担当者、責任者はともに園長であることを重要事項説明書に記載し、重要事項説明書に第三者委員3名の連絡先を記載しており、直接苦情を申し立てることができます。要望や苦情はマニュアルに沿って対応し、苦情相談対応記録簿を作成し、再発防止に努めています。 ・設置法人作成の「健康管理マニュアル」があり、子どものその日の状況は、保護者より報告を受け、また、登園時などの観察を通し、個人名の書かれた引継ぎ簿に記録し、状況を職員間で共有して保育に当たっています。 ・「感染症予防マニュアル」に則り、「入園のしおり」には、登園停止基準や感染症の対応について記載し、入園時に保護者に詳しく説明しています。 ・設置法人の「安全管理マニュアル」と園独自マニュアルがあり、園はこれに則って、保育の安全確保に努めています。睡眠に関する乳幼児突然死症候群対策や、プール遊びにおける監視員役を園長が担ったりして、マニュアルに従った安全行動をもとに保育を進めています。月に1回必ず地震、火災を想定した避難訓練を行っています。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回開催する入園希望者の見学説明会には保育士と栄養士も同席し、参加者の相談に応じています。定期的な育児相談は行っていませんが、次年度に向け開催を検討中です。 ・医療機関、療育、行政などの関係機関の連絡先を事務室に掲示しており、関係機関との連絡は園長が担当しています。療育、医療機関、行政、社会福祉協議会など

	<p>の関係機関と日常的な連携ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長組は小学校の秋祭りに招待されたり、また、園は中学校の職業体験を受け入れたりして、学校との連携を図っています。小学校の生活科の授業である、近隣の調査に対しても協力しています。 ・園の詳細な情報は、ホームページにアップしており、園見学に際しては、入園のしおりなどを手渡し、説明しています。外部情報提供媒体の広報誌に園の内容を掲載してもらっています。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「チームメンバーハンドブック」には、設置法人の職業倫理綱領や法令の遵守が明文化されていて、職員は新人研修にて内容の説明を受けています。 ・認可保育園としての行政への報告義務があり、毎年度の報告内容（事業報告書や決算諸表など）は行政や設置法人のホームページにも公表されています。また、ワムネット（財務諸表等電子開示システム）に現況報告書、決算諸表を公開しています。 ・事務、経理、取引などに関するルールは経理規程（出納、内部監査、契約などの規定）にて明文化されています。「事務・経理・取引関係」については報告書式があり、毎月、内容を記載の上、設置法人本部に提出し、保育所運営内容のチェックを受けています。 ・園長は保育専門誌や港北区園長会、設置法人施設長会議にて外部の情報収集に努めています。入手した重要情報については、園長、主任、ミドルリーダーの幹部職員会議で話し合い検討しています。 ・設置法人の3か年中長期計画（2019年度～2021年度）をもとに、園独自で「ブライト保育園横浜綱島3か年計画“選ばれ続ける保育軍団”をめざして」を打ち出し、保育を進めています。3年後にどのような保育園になっているかを明示して、3年間のロードマップを作っています。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長はキャリアパス計画や職員の希望する研修受講項目などを勘案し、年間研修計画を作成しています。衛生や安全に関する園内研修を非常勤職員も参加して行っています。 ・職員は横浜市、港北区などの外部研修に参加し、外部研修受講後には必ず研修報告書に内容をまとめて記録し、受講した職員が講師となって園内発表会を開いています。その場で職員同士話し合っ、園で生かせる研修内容は保育の中に取り入れています。 ・職員は年度の終わりに、「横浜市保育士自己評価表」をもとに自己評価を行い、個人面談で園長からアドバイスや指導を受け、次年度の課題を明確にして取り組みを進めています。職員の自己評価をもとに、園としての自己評価を行い、保護者へのアンケート結果とともに、園のエントランスに公表しています。 ・職員会議では職員から業務改善の意見や要望を聞き、皆で話し合っています。年3回行われる園長、職員の個別面談でも職員要望や意向などを聞き、幹部会で検討して対応しています。

評価機関による評価

令和元年 12 月 30 日

事業所名 ブライト保育園横浜綱島

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
I - 1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念は『生きる力』（ひとりで世の中渡っていく力）の基礎をつくる」です。保育方針は『アタマ・ココロ・カラダ』の三位一体『興育』～興味・体験・感動・気付き～です。保育理念・保育方針は法人共通であり、利用者本人を尊重したものになっています。 ・保育理念と保育方針は職員マニュアル「チームメンバーハンドブック」に記載され、全職員が理解しています。 ・保育理念と保育方針は入園のしおりに記載されています。6月の保護者懇談会でクラスの方針を説明し、年度末の保護者懇談会で改めて説明しています。 ・全体的な計画は保育理念や保育方針に沿って、地域の状況や特色を生かし、全職員の意見をもとに作成しています。 ・一人一人の発達や成長に合わせた関わりを大切にしています。職員は子どもの様子をよく観察し、時には絵や写真を用いて説明するなど、子どもが理解しやすい工夫をしています。 ・言葉で表現できない乳児でも、表情を見て話しかけながら対応しています。話せる子どもにはじっくり聞く姿勢を大切にしています。 ・職員は「認める・見守る・待つ・見つける・仕掛ける」ことを大切にしています。子どもの興味に寄り添い、共感し、子どもが、何がしたいのかをくみ取って指導計画に反映しています。 <コメント・提言> <ul style="list-style-type: none"> ・入園のしおりにには法人共通のクレドの説明、保育方針、保育理念、様々なスローガンなど多くの情報が併記されています。保護者が保育理念や保育方針をより一層理解するために、園として最も大切にしたい1つを玄関に掲示するなどして、保護者に印象づけることが期待されます。
I - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前後には、ミルクの温度・入眠時の癖・抱っこの仕方・食事の好みなどを特に丁寧に観察し、子どもが園で安心して過ごせるようにしています。 ・入園時に保護者から提出された児童票などをもとに面談し、子どもの状況を把握しています。 ・ならし保育は「無理なく保育園に慣れ、心身ともに疲れさせない」という目的で行うことを保護者に説明しています。通常は5日間ですが、子どもの様子を見ながら、ゆっくり進める場合があることも伝えています。 ・0～2歳クラスでは担当保育士を決めています。連絡ノートの記事や食事も担当し、愛着関係を深められるようにしています。 ・0歳児クラスにおいては、応答的な関わりを大切にしています。職員は子どもの表情から気持ちを読み取り、「楽しいね」「気持ちいいね」「おむつ替えようね」など、声をかけながら対応しています。 ・食事や睡眠は一人一人のペースに合わせて、心地よく生活できるようにしています。わらべうたで職員とのスキンシップも大切にしています。 ・一人一人が発達に応じた運動遊びができるように、保育室の整備をしています。マットで山をつくって登ったり、園舎の階段を上がった、芝生の公園をハイハイするなど、様々な環境の中で全身を動かしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃや絵本が子どもの手が届く場所に置いてあり、自分で移動してそれぞ れが興味を持ったもので遊ぶ環境ができています。職員は子どもの行動を言葉 に置き換えて、応答的な対応をしています。マジックテープ・鏡・ポットン落 としなど子どもたちの興味に沿った手作りのおもちゃが多く用意されていま す。 ・保護者と積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いています。情報 を共有し、園と家庭で同じ対応ができるようにしています。 ・1～3 歳児未満のクラスでは子どもの行動を肯定的に受け止め、頑張っている ときには励まし、さりげなく援助することで満足や自信につながるようにして います。 ・保育中は観察を十分に行い、疲れが見られる時には休息をとったり、午睡をた っぷり取るなど個々に合わせた柔軟な対応を行っています。 ・リズム遊び・鉄棒・跳び箱・マット・平均台を使用したり、ゲームなど日常の あそびの中でも全身を使って遊んでいます。 ・公園や散歩で出会う自然とのかかわりを大切にしています。寒天遊びや小麦粉 粘土を楽しむことで、五感を刺激しています。 ・子どもの思いが友達に伝わらないときには、職員が時には子どもの気持ちを代 弁したりして、後押しをしています。 ・3 歳児の保育では遊びの中で全身を動かす活動をしています。また、子どもの 興味関心が戸外にも向くようにしています。屋外で虫探しをしたり、プールで じゃんけん列車をしたりして遊んでいます。 ・4 歳児の保育では集団の中で、ともに楽しむ遊びをしています。おにごっこや リレーなどルールのある活動の中で、自分の力を発揮したり、友だちと競うこ とを楽しんでいます。 ・5 歳児の保育では友だちと協力し、一つのことをやりとげる遊びや活動をして います。廃材を使って車や建物をつくり、友だちと協力して考え、工夫し、大 きな街を作り上げる活動を行いました。
<p>I - 3 快適な施設環境の 確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室・トイレなどに清掃チェック表をもうけて、常に清潔を保っています。 ・24 時間換気システムを採用し、保育室には空気清浄機も設置しています。 ・温湿度計を設置し、適切な環境を保っています。夏季は 26℃、冬季は 23℃、 湿度は 60%を目安にしています。園舎は南向きで日当たり良好です。 ・0 歳児クラスと幼児トイレに温水シャワー設備があります。 ・低年齢児のクラスでは、ついたてやマットでコーナーをつくり、少人数で落ち 着いて遊べる環境をつくっています。 ・2 階の 4 つの保育室はパーテーションで仕切られています。誕生日会などの行 事・体操・リズム遊びの際に仕切りを外し、広い空間をつくって異年齢で活動 しています。
<p>I - 4 一人一人の子ども に個別に対応する 努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 歳未満児については個別指導計画を作成しています。 ・児童票・健康に関する記録・保育経過記録・保育所児童保育要録を作成し、個 人ファイルに保管しています。 ・進級や転園の際は個人ファイルをもとに、適切な引き継ぎをおこなっていま す。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の場合も、健康面や発達の様子など特別な配慮が必要な場合は、関わる職 員が情報を共有し適切な対応を行うために、個別に指導計画を作成することが 必要です。月案や、週案の特記事項欄に個人別の配慮事項などをより詳細に記 載するなど、記録を充実することが期待されます。
<p>I - 5 保育上、特に配慮 を要する子どもへ の取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児保育やアレルギーに関しての外部研修を受けた職員が園内研修を担 当し、職員会議で研修内容の報告をしています。最新の情報を職員間で共有し、 保育の質の向上につなげています。 ・多目的トイレ、スロープ、エレベーターの設置をしています。各フロアに段差 はありません。

	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市総合リハビリテーションセンターの指導をもとに、障がいの特性を考慮した個別指導計画を立てています。障がい児のクラス担任は統合保育の外部研修を受け、日常の保育に生かしています。 ・職員は他の子どもとの仲立ちとなり、時には代弁して、互いの思いが伝わるようにしています。障がい児を周りの子どもが自然に手伝う雰囲気が出ています。 ・かかりつけ医の指示および生活管理指導表にもとづき、食品の除去を行っています。12か月ごとに再評価を行っています。 ・アレルギー疾患のある子どもには専用の献立を作成し、献立をもとに、毎月管理栄養士と保護者でアレルギー面談を行っています。 ・アレルギー児には専用のトレイ・食器・名札を使用しています。提供時には職員がアレルゲンの有無を声出し確認・復唱し、事故防止に努めています。 ・外国籍の保護者のために保育室の荷物置き場に日本語・英語を併記し、配布物や提出物に関しては口頭でゆっくり説明しています。
<p>I - 6 苦情解決体制 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に意見箱を設置しています。行事ごとに保護者アンケートを実施しています。毎年、園の自己評価を実施し、結果の公表は懇談会で説明し、玄関への掲示で行っています。 ・外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制はありません。 ・要望や苦情はマニュアルに沿って対応しています。苦情相談対応記録簿を作成して、再発防止に努めています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の第三者委員は3名とも名古屋市在住の設置法人の関係者で、保護者は第三者委員に相談する場合、遠隔地に電話連絡しなくてはなりません。保護者の立地に配慮した選定が求められます。 ・保護者の状況などによって、苦情や要望を申し出しやすい方法や適切な解決方法は一律ではないため、複数の受付窓口や解決のルートが確保されていることが必要です。また、園単独で解決できない苦情や課題に対しては、他の関係機関と連携・協同して取り組むことが重要です。外部の権利擁護機関や行政の窓口などとの連携について、重要事項説明書や苦情対応マニュアルの中に盛り込むとともに、保護者に周知されるよう、ポスターやパンフレットの掲示をすることが期待されます。

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ - 1 保育内容[遊び] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低い棚を設置し、子どもがおもちゃを自由に取り出せるようにしています。ケースの前にはおもちゃの写真や種類を書いた紙を貼り、自分で片付けやすい工夫をしています。 ・子どものあそびの様子を見ながらおもちゃの種類や量を変更しています。ままごと・ブロック・机上あそびなど3拠点を用意し、子どもが自由に遊びを選択できるようにしています。 ・自由遊びの時間を多くとっています。子どもの様子を見ながら、柔軟なプログラムにしています。 ・コーナー・マット・仕切りのカーテンを使い、少人数が落ち着いて遊べる環境を作っています。 ・職員はそれぞれの子どもが今何に興味があるのかよく観察し、遊びが深まるように声かけしています。集団が苦手な子どもには、まずは職員が1対1で関わるようにしています。 ・園庭でチューリップ・イチゴ・キュウリ・ジャガイモ・ナスなどを栽培し、子どもたちと収穫しています。開園以来カブトムシの飼育を続けています。 ・お散歩マップをエントランスに掲示しています。乳児は芝生の公園でハイハイしたり、幼児は土手で段ボール滑りをするなど、自然に触れる機会を多く持つ

	<p>ています。公園遊びには各自が牛乳パックで作ったバッグを持参し、見つけた葉っぱなど持ち帰っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に合わせてリズム遊びをとりいれています。様々なブロックや積み木が用意され、各自が自由に表現しています。 ・乳児クラスの懇談会では0～2歳児の発達の特徴やかみつきについてのプリントを配布、説明し、保護者の理解を得ています。職員は毎日のミーティングや引き継ぎで一人一人の発達について情報共有し、かみつきなどの事故を未然に防ぐようにしています。 ・体操やリズム遊びを複数クラスが合同で行ったり、異年齢で手をつないで散歩に行っています。5歳児が1、2歳児の午睡後の着替えを手伝うこともあります。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りのおもちゃが多数準備されています。乳児クラスには段ボール製のキッチン台、抱き人形、牛乳パックのいすなどがあります。幼児クラスには牛乳パックの平均台やキッチン台があります。また、ガムテープの芯をビニールテープで巻いたものを数多くそろえて、子どもたちは高く積んだり、重ねて自由に遊びを広げています。 ・職員からテーマを与えるのではなく、自然と子どもが興味を持って取り組むような仕掛けづくりをしています。職員が散歩の途中で出会う植物の写真を撮り、保育室に並べて掲示したことで、子どもたちが自分から植物の名前を図鑑で調べ出し、次年度の年長にプレゼントするための図鑑づくりに発展しています。 ・5歳児の希望で0歳児の授乳を体験しました。事前に0歳児クラスの保護者全員の同意を得て、多くの職員の介助のもと授乳を体験しました。命の大切さや小さなものをいたわる気持ちを学ぶ機会になりました。
<p>II-1 保育内容[生活] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は楽しく食べることを第一に考えています。家庭と連携しながら食事の量を調節し、苦手なものを食べられたときには職員が十分にほめたり、励ましながら見守っています。 ・0歳児クラスから発達に応じて食育計画を立て、食に関心がもてるようにしています。3歳から配膳と片付け、4歳からは給食当番をもうけて活動しています。 ・園庭でイチゴ、キュウリ、ナスなどの野菜を栽培して、子どもたちと収穫し給食で食べています。食への関心がもてるように、子どもの発達に合わせて、野菜スタンプ、小麦粉粘土、野菜の皮むきなどの食育プログラムを実施しています。 ・授乳は一人一人のペースに合わせて、抱っこして、声をかけながら行っています。 ・季節の食材を多く取り入れ、いろどりを考えた献立にしています。保育室に近隣の方からもらった花を飾ったり、天気の良い日には園庭にシートを敷き、ピクニック気分で食事をすることもあります。 ・調理担当者は乳児クラスには毎日、幼児クラスには日替わりで食事の様子を見て回っており、昼ミーティングにも参加しています。 ・給食日誌に喫食状況や残食量を記録し、献立作成に反映しています。設置法人4園で献立開発チームを結成し、各園からアイデアを持ち寄っています。 ・乳幼児突然死症候群の対策としてあおむけ寝を徹底し、0歳児は5分、1、2歳児は10分毎の呼吸チェックを行い、記録しています。 ・トイレトレーニングは無理せず、一人一人の発達に合わせて行っています。職員は各自の排尿間隔を把握し、ミーティングで情報を共有し、保護者とも連携して進めています。 ・おもらしの際は子どもに「失敗しても大丈夫」と伝え、安心させるような対応をしています。ミーティングで心を傷つける対応をしないことを確認しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとに引継ぎ簿で情報を管理しています。特記事項にはアンダーラインを引き、お迎えにきた保護者に一日の様子が確実に伝わるようにしています。 <工夫している事項> ・調理室前に牛乳パック製の手作り階段が設けられ、子どもたちが調理の様子をガラス越しに見学できるようになっています。数人が並んで見学できるため、「ニンジンも切っているね。」「今日はカレーかな？」など子ども同士の会話が生まれています。日常的に調理の様子を見ることで、保育室でもままごと遊びがより具体的になったり、食への関心が高まる契機になっています。 ・5歳児クラスの給食当番は当日の献立を3つの食品群に分けて発表しています。食品群のボードは夕方玄関ホールに掲示しています。 ・絵本「そらまめくんのベッド」をヒントに、職員がそらまめ、さやえんどう、ピーナッツなど絵本に出てくる様々な豆を準備し、子どもたちが実際に見て、触って確かめる「まめくらべ」を楽しみました。 ・5月にはイチゴの鯉のぼりケーキや春巻きの皮のかぶと、クリスマスはサンタクロースのケーキ、節分の鬼ハンバーグなど季節の行事メニューに目を楽しませる多くの工夫があります。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【健康管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康に関しては「健康管理マニュアル」に則り、必ず保護者より報告を受け、登園時の子どもの様子や一日の子どもの観察を通して、状況は個人名の書かれた引継ぎ簿に記録し、職員間で共有して保育に当たっています。 ・既往症については、入園時提出の「生活調査表」「健康台帳」などで入園前の園児の状況を把握し、入園後に発症した病気についても保護者から報告を記録し、個人ファイルにとじ込んでいます。 ・37.5℃以上の発熱で保護者に連絡をして迎えをお願いし、お迎え時に口頭で状況を伝え、必要があれば医師の受診をすすめ、降園後の対応を相談しています。 ・2歳後半より歯磨きを開始し、0、1歳児に関しては、安全面よりうがいやお茶を飲むことで口の中の清潔を保つようにしています。 ・園の嘱託契約医師による健康診断と歯科健診を年に2回行い、診断の結果は個人ファイルに綴じています。健康診断結果が記録された「健康の記録」を保護者に見せて了解のサインをもらい、歯科健診では、園が発行する「歯科健診の結果」を保護者に手渡しています。 ・「感染症予防マニュアル」に則り、「入園のしおり」には、登園停止基準や感染症の対応について記載し、入園時に保護者に詳しく説明しています。 ・保育中に発症した際は、保護者には速やかに連絡し、迎えの時間など保護者の状況に応じていますが、緊急性のある場合は病院にて合流するケースもあります。 ・園内で感染症が発生した場合には、エントランスの掲示板に感染症の情報を掲示し、送迎の際にも保護者に伝えています。 ・感染症発生時にはその感染症の症状や対応について昼ミーティング、伝達ノートなどで職員全員に周知しています。また職員は毎年感染症研修を受講し、最新情報は職員会議などを通し、職員間で共有しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成の「衛生管理マニュアル」に則り、園独自に作成した衛生管理項目を含む「横浜綱島マニュアル」を各クラスに常備しています。職員の体調管理や嘔吐処理について職員会議や昼ミーティングで取り上げるとともに、3名の衛生係を講師とした園内研修を行っています。衛生管理マニュアルに基づき保育室、沐浴設備、トイレ、階段などの掃除や消毒をおこない、清潔を保ち、清掃チェック表をつけ、漏れがないよう管理しています。 <工夫している事項> ・職員が外部研修を受講して、その研修内容をもとに、「ブライト保育園横浜綱島」の現状に則した独自の園マニュアルを作成して保育に当たっています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の「安全管理マニュアル」と園独自マニュアルがあり、園はこれに則って、保育の安全確保に努めています。 ・園は睡眠に関する乳幼児突然死症候群対策や、プール遊びにおける監視員役を

<p>[安全管理]</p> 	<p>園長が担ったりし、マニュアルに従った安全行動をもとに保育を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回必ず地震、火災を想定した避難訓練を行っています。ロッカーや棚の背の高いものは突っ張り棒で固定し転倒防止対策をし、棚の上は展示物や置いてある物品が落ちないように滑り止めシートを敷いています。 ・毎月担当職員を変えて避難計画を立てさせ、全職員がマニュアルに精通するようにしています。避難訓練では、年1回大規模災害を想定し、一時避難場所への避難訓練を実施しています。地域の広域避難場所は職員が確認し、早番、遅番の時間帯など、職員数の少ない時間帯での訓練も加味すると、月2回の訓練になる月もあります。 ・保護者には第三連絡先（第一；会社、第二；父母の携帯、第三；祖父母の電話）まで、登録してもらい、嘱託医も含めて近隣の医療機関の電話番号を電話機のそばに掲示し、非常災害の発生に備えています。 ・園ではマニュアルに基づき、保育中に手当が必要と思われるケガをした場合は保護者に速やかに報告し、擦り傷など軽度のケガに対してはお迎え時に保護者に伝え、記録は必ず残しています。 ・「不審者対応マニュアル」を作成し、緊急連絡体制を完備し、また、横浜市、港北区よりFAXによる不審者情報が入るネットワークに加入しています。
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士、昼ミーティングなどで、子どもに対する言葉遣いなど、お互いに指摘し合えるような信頼関係の上で、保育を進めており、子どもに対する威圧的な言葉は厳禁としています。 ・子どもの人格を辱めるような罰や自尊心を傷つけるような保育は、子どもが心身共に健やかに育つためには、決してあってはならないことを、各種の内部研修、外部研修を通じて、全職員は認識しています。 ・「チームメンバーハンドブック」を職員全員に配付し、記載された守秘義務に関する個人情報の保護について周知徹底しています。保護者には入園説明会において、「入園のしおり」などを利用して説明し、子どもの写真の取り扱いに関して同意を得ています。園では個人情報を含むあらゆる情報も、USBなどを使って外部に持ち出すことを禁じ、また、個人情報は鍵の掛かるロッカーに夜間は収納しています。 ・園では、色や遊びの種類、劇遊びでの配役についても男女の区別けをしていません。グループ分けや整列も性別の区別はせず、名簿の順番は、生年月日順としています。
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には入園前説明会や6月と3月の懇談会で「重要事項説明書」「全体的な計画」「保育の基本方針」を説明しています。 ・個別面談は入園時には年3回、在園児では6月と11月の年2回の機会を持っています。また、希望があれば随時面談を行っています。クラス全体の様子を伝える保護者懇談会は年2回実施しています。 ・園だよりは毎月初めに発行し、エントランスに貼りだし、保護者に配付しています。その日の保育の様子については、乳児クラスは個別連絡ノートに、幼児クラスはホワイトボードに書き出し、保護者に伝えています。 ・クラスだよりでも子どもの様子や今取り組んでいる内容を伝えています。子どもたちの日中の活動の写真は、保護者の同意のある子どもについては園内に掲示し、また、フェイスブックにアップして、保護者に知らせています。 ・乳児1週間、幼児1週間の保育参加週間を設け、予約を受け付けながら実施しています。都合がつかなかった保護者については、希望を聞いて参加してもらっています。又、子どもの誕生月には、誕生日会に出席してもらっています。 ・保育参加、保育参観に出席できず、懇談会にも出席できなかった保護者に対しては、当日配付した資料を後日配付し、また、口頭でも説明しています。 ・保護者の運動会の手伝いについて、園の職員も参加して相談の結果、子どもたちが作った「万国旗」の会場での設営をしました。さらに協力する保護者を増やしたいとの意向があり、園も協力し、園だよりに載せ、結果15名くらいの保護者参加が得られました。

	<p>・送迎の際など、職員から個々の保護者に対しコミュニケーションはとっていますが、保護者組織はなく、保護者との組織的・継続的なコミュニケーションはとれていません。</p> <p><コメント・提言></p> <p>・保護者同士がつながりを持てるよう、保護者主体のバザーや衣類、おもちゃ、絵本の交換会などの開催希望があれば歓迎し、支援できる体制となっていることを保護者に表明することが期待されます。</p>
--	--

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な育児相談を行っていません。年間６回開催する入園希望者のための見学説明会で、職員は参加者の相談に応じるとともに、地域の子育て支援ニーズの把握に努めています。 ・港北区の園長会で、地域の子育て支援ニーズについての情報交換をしています。 ・「わらべうた講習会」「読み聞かせ講習会」「リズム親子あそび」などのアイデアが職員から出ており、次年度以降の開催に向け話し合っています。 ・一時保育を募集していますが、利用実績がありません。園庭開放、絵本の貸し出しも検討中です。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園で一時保育の受け入れを行っていることが近隣住民に十分周知されていません。一時保育の募集については、園の外壁に掲示したり、町内会の回覧板などを通じてアナウンスし、一時保育利用者を通し、地域の子育てニーズを把握することが期待されます。 ・保育所は自らの専門性を子どもと保護者のみならず、社会にも還元することが求められます。現在検討中の園庭開放や育児講座が実現できるように、職員で話し合いを重ねていくことが期待されます。
Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・年６回開催する入園希望者の見学説明会には保育士と栄養士も同席し、参加者の相談に応じています（見学者年間５０～６０組）。 ・現在、地域への定期的な情報提供は行っていませんが、町内会への加入を検討しています。 ・療育、医療機関、行政、社会福祉協議会などの関係機関と日常的な連携ができています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所は地域における育児支援の中核として、培ってきた専門性を地域に還元し具体的に育児支援を行う大切な役割を担っています。定期的な育児相談や保育所からの情報提供を積極的に行うことが期待されます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携園である小規模保育園の園児を本園の行事に招待したり、自治会長をはじめとして、近隣の地域住民にも行事の招待状を届けていますが、開設間もないこともあり、自治会や地域の団体、機関との定期的な付き合いは実現していません。 ・年長組は小学校の秋祭りに招待されたり、また、園は中学校の職業体験を受け入れたりして、学校との連携を図っています。小学校の生活科の授業である、近隣の調査に対しても協力しています。 ・園に面する歩道や、さらにその周辺までも清掃や冬季は雪かきなども行い、地

	<p>域から感謝されています。子どもたちの散歩では、保育士と子どもたちで地域の人たちと積極的に挨拶を交わしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱島公園ログハウスは秋の遠足で利用し、また、園の運動会は近隣の小学校校庭を使わせてもらっています。 ・子どもたちが近隣の商店に出向き、クッキング保育の食材買い出しをします。園は日常的に近隣の保育園や小学校、高齢者施設、社会福祉協議会とは交流を図っています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の地域に貢献する第一歩として施設の開放や、地域と良好な関係を築くために、地域の団体との継続的な協力関係の維持が大切です。実績を築く努力を期待します。
<p>IV-2 保育所における福祉サービスに関する情報提供 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の詳細な情報はホームページにアップし、園見学に際しては、入園のしおりなどを手渡し、説明しています。外部の情報提供媒体の広報誌に園の内容を掲載してもらっています。料金体系、職員体制などは、園の「入園のしおり」やホームページに掲載しています。 ・園内容についての問い合わせについては「入園のしおり」をもとに、園の事務職員が常時対応できる体制にあります。 ・見学に関する案内は、ホームページにアップしています。見学日については毎年7月～10月の期間に、月2回（1回当たり最大15組まで）と定めていますが、さらに希望者の都合を聞いてケースバイケースで対応しています。
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園には「保育ボランティア・職業体験マニュアル」があり、ボランティアの心得、意義などの記載があります。昨年度および今年の8月の夏休みには、港北区社会福祉協議会の斡旋で数名の中学生からボランティアの申し入れがあり、受け入れています。 ・受け入れに際してはガイダンスで個人情報の保護や子どもの人権などについて説明し、活動に入ってもらっています。ボランティア終了後にボランティアと担任、主任、園長とで振り返りを行い、意見交換をし、感想文の提出を得ています。良い意見が得られれば、保育に反映させています。 ・設置法人の「実習生受け入れマニュアル」はありますが、園としての受け入れ実績はありません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れは保育所運営が閉鎖的になるのを防ぐばかりではなく、園として将来の保育士育成の一翼を担うという機能が期待されます。開設間もない園ではありますが、受け入れに対する積極性を期待します。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は園運営に必要な人材や配置状況を常に把握し、急な欠員が生じた場合には、系列姉妹園より保育士の融通を得ることもできます。 ・園独自の「2019年度ブライト保育園綱島キャリアパス計画」を作成し、研修計画を立てて、人材の育成を進めています。 ・職員一人一人は年に一度、自己評価を行い、次年度の目標を定めた上で、年度末に達成度の評価を行っています。年度初めには園長との個別面談を行い、話し合いながら研修受講計画を作成し、11月に中間の進捗状況チェック面接を経て、年度末の達成度チェックに結びつけています。 ・園長はキャリアパス計画や職員の希望する研修受講項目などを勘案し、年間研修計画を作成しています。 ・衛生研修（嘔吐処理、エビペンの使い方など）、安全研修（安全な散歩路、AEDの使い方など）の園内研修を年間研修計画に沿って定期的に行い、非常勤職員を含め、関係する職員や出席可能な職員は全員受講しています。 ・職員は外部研修受講後には必ず研修報告書を提出し、受講した職員が講師とな

	<p>って園内発表会を開き、園で生かせる研修内容は保育の中に取り入れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置法人には「保育園業務マニュアル」を要約した「チームメンバーハンドブック」があり、入職後、非常勤職員を含め、職員全員に配付しています。 ・非常勤職員も園内研修には可能であれば参加しています。また、非常勤職員は必要によりクラス会議にも出席し、意見交換をしています。 ・非常勤職員の指導担当者は、ミドルリーダーと主任があたり、他の職員とのコミュニケーションが円滑になるように配慮しています。
<p>V-2 職員の技術の向上 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は年度の終わりに「横浜市保育士自己評価表」をもとに自己評価を行い、個人面談で園長からアドバイスや指導を受け、次年度の課題を明確にして取り組みを進めています。 ・名古屋工芸大の外部講師を招き、「遊び保育論」というテーマで設置法人の近隣系列園と合同で法人内研修会を開き、常勤職員は受講しています。 ・年間指導計画は四半期ごとに自己評価欄に、月間指導計画は毎月、評価・反省・子どもの姿欄に、さらに週案では毎週、定形化されている評価・反省欄で振り返りを行っています。各指導計画はその期間の「保育のねらい」を掲げており、評価・反省はこの狙いと関連づけて行っています。 ・子どもの最善の利益を一番に考えた指導計画を立て、子どもの発達過程や心の育ち・意欲・興味などをよく観察し、それを踏まえた保育士の支援・かかわりが適切であったかなどを確認しながら自己評価をしています。職員は自己の保育実践の評価・反省を指導計画に記載し、気づきや課題を次期計画に反映させています。 ・毎年、職員の自己評価をもとに、園としての自己評価を行い、また、保護者よりアンケートを取り、まとめたものを4月の懇談会で報告し、園のエントランスに掲示しています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の理念・方針に沿い、「2019年度ブライト保育園綱島キャリアパス計画」があり、各専門リーダーの役割、期待が明示されています。また、就業規則には人事異動、給与規程には昇給などの人事規程があり、職員は事務室に保管されている規程類を確認することができます。 ・園では安全リーダー、衛生リーダー、ミドルリーダー、乳児リーダー、幼児リーダーなど職員の専門性や能力に合わせて、成果や貢献度を評価する仕組みがあります。また、個々人の自己評価結果も踏まえて、毎年度末の個人面談結果で評価していますが、評価の仕方や結果については各職員には開示していません。 ・各クラス担任には、本人の自覚と責任感のもとに、状況に応じて独自に判断できる権限を与えています。また、幼児リーダー、乳児リーダーが各クラス担当を統括しています。 ・職員会議では職員から業務改善の意見や要望を聞き、皆で話し合っています。 ・年3回行われる園長、職員の個別面談でも職員要望や意向などを聞き、幹部会で検討して対応しています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のモチベーションを高める人事考課であるために、考課の仕方、結果についても本人に開示し、次年度の明確な達成目標の確立に結びつくことを期待します。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員マニュアル「チームメンバーハンドブック」には、設置法人の職業倫理綱領や法令の遵守が明文化されていて、職員は周知しています。 ・事務、経理、取引などに関するルールは経理規程（出納、内部監査、契約などの規定）にて明文化されています。また、「役割分掌表」にも、園長、主任、担任の職務内容を規定しています。 ・「事務・経理・取引関係」については報告書式があり、毎月、内容を記載の上、

	<p>設置法人本部に提出し、保育所運営内容のチェックを受けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園としての行政への報告義務があり、毎年度の報告内容（事業報告書や決算諸表など）は行政のホームページや設置法人のホームページにも公表されています。また、ワムネット（財務諸表等電子開示システム）に現況報告書、決算諸表を公開しています。 ・テレビ、新聞などの子どもに関する事故・事件の報道については、常に関心を払っており、園で起こりうるリスクとして、職員会議で未然防止に向け話し合い対応策を検討しています。 ・ごみの分別を行い、牛乳パック、ペットボトル、空き箱などの廃材でテーブル、平均台、椅子、踏み台、手作りおもちゃなどを作成し、子どもたちの製作にも利用しています。コピーは半面コピー済紙を再利用するように心がけています。 ・環境への配慮に関する考え方、取り組みについて明文化されたものは見当たりませんでした。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所が一体となって、環境への配慮を進めるためには、職員、保護者への周知が大切です。掲示や園だよりなどでの文章への盛り込みが望まれます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・方針は「チームメンバーハンドブック」に記載されており、全職員は入職の際手渡され、新人研修も受けています。園長は職員の理念に関する理解度については、職員との個別面談の中のやり取りで判断でき、必要ならば再度説明し直しています。 ・体操などの活動着の導入を園で決め、保護者との話し合いをもった際には、まず保護者アンケートを取り、保護者意見を取り入れながら、導入を実現しました。保護者意見を取りまとめる中で、色（白、紺）や形さえ合えば、指定品ではなく代用品でも構わないなど、保護者意見を受け入れて実施しました。 ・活動着の件では、職員に対しては会議で説明し、保護者に対しては書面で案内し、懇談会などでは目的、決定理由、経過などを時間の余裕を持って説明し、同意に漕ぎつけました。このような大きな変革の説明には、設置法人の総務部の協力も得て、遂行しました。 ・主任候補の職員については、横浜市と港北区で主催する「主任育成研修」を受講させ、主任に向けての必要知識を磨いています。 ・主任、ミドルリーダーは常に全職員の業務状況を把握しており、シフト作成に無理が生じないように配慮し、各職員の経験や能力に合わせて指導、助言、援助を行っています。また、職員の健康状態や精神的な状況を把握し、職員が良い状態で保育ができるように配慮しています。 ・園長、主任は毎朝健康チェック表を確認し、園長は各保育室を巡回して、職員とコミュニケーションをとりながら、職員の様子に注意を払っています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営にかかわる情報の収集・分析は設置法人の担当部署で行っています。園長は保育専門誌や港北区園長会、設置法人施設長会議にて外部の情報収集に努めています。入手した重要情報については、園長、主任、ミドルリーダーの幹部職員会議で話し合い検討しています。 ・組織運営上の情報や日常業務の改善案件などは、情報リーダー会議や全体会議などで職員に伝達し、園全体の取り組みとしています。 ・設置法人の3か年中長期計画（2019年度～2021年度）をもとに、園独自で「ブライト保育園横浜綱島3か年計画“選ばれ続ける保育軍団”をめざして」を打ち出し、保育を進めています。3年後にどのような保育園になっているかを明示して、3年間のロードマップを作り、今年1年目（何を、どのレベルまで）を①保育の質の向上、②人が育つ、人を育てる風土、環境、③情報&コミュニケーション活性化の3大目標に沿って事業計画を進めています。 ・設置法人の保育所管轄部門では、保育の無償化に伴う食事費の調整のほか、新園開設やIT化など、変化の流れに沿って新たな対応策を打ち出しています。 ・設置法人においては、今後の新園開設も見据え、後継者育成を進めています。 ・運営に関して設置法人は、公認会計士法人などの関係する外部の機関や、大学

教授などの専門家を招き、意見を取り入れています。

利用者家族アンケート

事業所名:ブライツ保育園横浜綱島

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数 53名、全保護者 49家族を対象とし、回答は 37家族からあり、回収率は76%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は 97% (満足54%、どちらかといえば満足43%)と高い評価を得ており、否定的な回答は 3% (どちらかといえば不満3%、不満0%)でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

(肯定的な回答が100%の項目)

- 1) 問4(生活):給食の献立内容、子どもへの体調への気配り
- 2) 問5:子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気
- 3) 問7:子どもが大切にされている、子どもが保育園生活を楽しんでいる

(肯定的な回答が95%~97%の項目)

- 4) 問4(遊び):クラスの活動・遊び、戸外遊びが十分、遊びを通じた友達・保育士との関わり、健康への取り組み(以上97%)、おもちゃや教材(95%)
- 5) 問4(生活):基本的生活習慣の自立(97%)
- 6) 問5:施設設備(97%)
- 7) 問6:園の様子や行事に関する情報提供、保護者からの相談事の対応(以上97%)
- 8) 問7:話し易い雰囲気・態度(97%)

◇ 比較的満足度の低い項目(否定的な回答が15%以上の項目)

- 1) 問4(生活):おむつはずしへの取り組み(16%)
- 2) 問6:送り迎えの際の情報提供(16%)

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	19%	62%	11%	5%	3%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	71%	26%	0%	0%	3%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	40%	22%	0%	0%	35%	3%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	38%	40%	8%	0%	11%	3%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	40%	49%	0%	0%	8%	3%
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	46%	46%	3%	0%	3%	2%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	57%	32%	8%	0%	0%	3%
	その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	65%	24%	5%	3%	0%	3%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	57%	32%	11%	0%	0%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望	49%	35%	5%	3%	8%	0%

が活かされているかについては

その他:

問4 日常の保育内容について

遊びについて	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	73%	24%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	62%	35%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	60%	35%	5%	0%	0%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	49%	43%	8%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	70%	27%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	62%	35%	3%	0%	0%	0%
	その他:					

生活について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	81%	19%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	81%	13%	3%	0%	3%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	70%	27%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	60%	27%	8%	5%	0%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	41%	27%	13%	3%	16%	0%
	その他:まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	73%	27%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	54%	32%	11%	3%	0%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	57%	40%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	65%	35%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	41%	46%	13%	5%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	54%	35%	8%	3%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	43%	51%	6%	0%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	62%	35%	0%	3%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	62%	30%	5%	0%	3%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	49%	35%	16%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	49%	43%	5%	0%	3%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	54%	43%	0%	3%	0%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	62%	33%	0%	0%	5%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	70%	30%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	76%	24%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	65%	24%	0%	0%	8%	3%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	70%	27%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	62%	30%	8%	0%	0%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
総合満足度は	54%	43%	3%	0%	0%

観察方式による利用者本人調査

令和元年 11 月 20 日、25 日

事業所名：ブライイト保育園横浜綱島

【0 歳児】

<朝のひと時>

子どもたちは、壁に並べられた小さな椅子に座り、保育士の読み聞かせを神妙な顔をして聞いています。次に、保育士のリードで「朝の会の歌」です。まだ一緒には歌えませんが、保育士をまねて小さい手で手拍子を打っていました。

<園庭遊び>

お兄ちゃん、お姉ちゃんのクラスが次々と散歩に出発する中、0 歳児は園庭で遊びます。今日は特に寒い朝を迎えたにもかかわらず、よちよち歩きですが、元気に歩き回っていました。手にはスコップを持ち、砂遊びもするようです。時々立ち止まっては、散歩に出発する年上グループに目をやっていました。

<散歩>

散歩に出かけます。5 人の子どもが乗ったカートを保育士が押しています。別の保育士は子どもの手をつないで並んで歩きます。道を横断するときにはピッピッと笛を鳴らしています。保育士は子どもたちに語りかけながら歩いています。ペットショップの前では「今日もワンワンいるかな?」、中学校の前では「お兄さんお姉さんいるかな? 音楽が聞こえるね。ダンスしているのかな?」「わあ、風がつめたいね。〇〇ちゃん、大丈夫?」というように。保育士は道に落ちている紅葉した葉を拾い、「はい、どうぞ」と渡します。子どもたちは小さな葉っぱを手にして興味深げに景色に目をやっていました。

<排泄>

おむつ替えをしています。保育士が「〇〇君、おいで」と呼びかけ、手をつないでトイレに連れていきます。マットを敷いて、「ゴロンしようね」と声をかけると子どもがマットの上に横になります。保育士が声をかけながらおしりをふいていると、近くにある小さな便器に座っている 1 歳児クラスの子どもの「〇〇君、ねんねしてるねー」と話しかけます。

おむつ替えが済んで保育室に戻ると、別の保育士がマットの上でわらべうたを歌いながら子どもと遊んでいます。「ちびすけどっこい裸でこい。ふんどし担いで裸でこい。のこったのこったー」とリズムカルに子どもの体をくすぐるとキャッキョウとうれしそうに声を上げて笑っています。保育士は一人一人順番にくすぐっていくので、保育士のまわりには数人の子どもが嬉しそうに集まっています。

<授乳・食事>

散歩から帰り、子どもたちは手を洗ってテーブルについています。食事が運ばれてきました。そろって給食の歌をうたいます。歌い終わると保育士は皿を子どもたちに見せながら「おいしそうだよ」「きょうはね、カレーとごぼうサラダとみかんだよ」と言いながら一人一人に配膳していきます。

<午睡>

ロールカーテンを下ろして薄暗くした部屋に子どもたちが並んで横になっています。まだ起きていておもちゃを手にしながらか横になっている子もいます。保育士たちは子どもたちの体をさすったり、優しくトントンと叩いて子どもたちが落ち着いて眠れるように見守っています。

【1歳児】

<朝の散歩>

朝の会も終わり、皆、保育士の援助を受けながら紫色の帽子をかぶり、玄関フロアの壁の所に横一列で座っています。保育士の話を聞きながら散歩の準備です。今日の目的公園はグリサラ（グリーンサラウンドシティ）公園です。

グリサラでは、車座に座って、保育士の注意を聞いた後、一斉に広い芝生の上へ飛び出し、思いっきり走り回りだしました。

<排泄>

ウンチをした子どものおむつ替えをしています。保育士はトイレに柔らかいマットを敷き、その上に子どもが横になります。保育士は子どもと視線を合わせ、「ウンチ出たの?」「出たねー。」「スッキリだねえ。」と優しく話しかけながら、おしりをふいています。拭き終わると「〇〇ちゃん、オッケー」「きれいになったよ」と言って、服を着せていました。

<食事>

散歩から戻ると各自手を洗います。食事の前に絵本を読んでいます。車の出てくる絵本で保育士は「これ救急車かな?」などと語りかけながらページをめくっています。別の保育士が2人で食物アレルギーのある子どものトレイにのった食事の内容を確認しています。「いただきます」をしてそろって食事が始まりました。子どもたちは食べながら「お散歩また行こうね。」などと近くにいる保育士と会話しています。保育士は「〇〇ちゃん、これもたべて」「みかん(の皮)むきむきして上手だね」と声をかけたり、援助の必要な子には「先生お手伝いしてもいい?」と断ってから手伝っていました。

<午睡>

午睡の前に絵本を読んでいます。子どもたちは牛乳パックで作った台にひな壇のように並んで座っています。保育士が「どでん、どでん」「どでん、どでん」

と臨場感たっぷりに読むのを皆集中して聞いています。絵本が終わるとそろって「おやすみなさい」とあいさつし、それぞれのコットに横になります。保育士は子どもたちに「電気消すね」と声をかけてから電気を消します。BGMが優しく流れるなか、子どもたちのおしゃべりが次第にやんでいきます。保育士は子どもたちの間に座り、体をさすったり優しくトントンと叩いていました。

【2歳児】

<散歩帰り>

3歳児と同時に帰園しました。玄関で上履きに履き替え、2階の保育室に戻ります。手を洗い、うがいをし、トイレタイムです。トイレは自分でする子と保育士の援助を受けている子といます。着替えはランチの後だそうです。

<食事>

各自テーブルに着き、自分の拭きタオルをテーブルの上に置き、保育士による配膳を待ちます。次に、食事用のエプロンを付けますが、自分でつけられる子、保育士の援助を受ける子もいます。「いただきまーす」の歌を唄い、食事がスタートです。皆スプーンを使って上手に自分で食べています。中には保育士の補助を受けて食べている子もいました。

2グループに分かれて食事をしています。各テーブルに保育士が1人ずつ座り、子どもたちと一緒に食事をしながら、各自に声をかけたり、時折手伝っています。ごぼうサラダが進まない子どもには「〇〇ちゃん、あと少しだね。ニンジンとキュウリとゴボウさん、どれならたべられそうかな？」と励ましています。保育士は食事が終わった子どもには歯ブラシを渡し、後から「〇〇ちゃん大きなお口だね。上手だよー」と言い、笑顔でミッキーマウスの歌をうたいながら仕上げ磨きをしていました。

<排泄>

昼食を食べ終わった子どもから、保育士が数人とトイレに向かいます。子どもたちは各自個室に入りますが、保育士は時折中の様子を伺い、子どものおしりをふいたり、服を直してやったり、「〇〇ちゃん、出た？」などと声をかけて見守っています。手を洗わずにいた子には、「〇〇ちゃん、手ごしごし洗える？」と優しく声をかけると、子どもは洗面台に向かい、両手に石鹸の泡をたくさんつけて丁寧に洗っていました。トイレトレーニング中の子どもには「パンツ替えようねー」と小さな椅子をすすめ、着替えを手伝っていました。

<午睡>

薄暗い部屋に優しい BGM がながれています。並べたコットの上で子どもたちが静かに横になっています。まだ半分くらいの子が起きていて、目を開けてぼんやりしている子や、コットの上でゴロゴロと体を動かしている子もい

ます。保育士はコットの間に座り、子どもの体をさすったり頭を撫でています。

<午後自由時間>

部屋の隅のままごとコーナーが人気です。一生懸命に料理をしている子どもたちがいました。部屋の反対側にはブロック遊びコーナーがありました。大きな船やら、車などをグループで作っているようです。

【2、3歳児合同保育】

2歳児室と3歳児室の間のカーテンウォールをたたみ、広い保育室を作り、合同保育です。室内用の組み立て鉄棒や、複数の体操マット、跳び箱に加えて、手作りの平均台、跳び箱用踏板を順序よく、大きな楕円形状に並べて、巧技台トラックが出来上がりました。鉄棒は、保育士の援助でぶら下がり、平均台は自分でバランスを取りながらわたります。次に保育士の援助で跳び箱の上に立ち、保育士が差し出したタンバリンを手で強くたたきながらマットに向かって跳び降りていました。みんな一生懸命に走り回っていました。

【3歳児】

<朝の会と散歩前>

「先生おはよう、皆さんおはよう」の歌を、保育士の弾くピアノの前に、後ろで手を組み、良い姿勢で歌います。歌い終わって、保育士の話を静かに聞きながら、床に円形に座り、一人一人の点呼が行われていました。

保育室内で青い帽子をかぶり、散歩の準備です。皆、床に座って保育士の話を聞きます。保育士は子どもの注意を集中させようと、いろいろな動物のシールを張り付けたピンク色の手袋を人形劇のように使いながら、話を進めていました。子どもたちは真剣に話に聞き入っていました。

<散歩>

各自水筒を肩にかけて出発です。出発前に玄関フロアでは、調理室内を「のぞき見」できるようにと、職員手作りの牛乳パックを利用したステップ台に乗って、皆、順番に調理室内をのぞき見です。おいしそうなランチの調理中で、皆嬉しそうでした。

玄関を出て、2人ずつ手をつなぎ、車に気を付けながら歩きます。横断歩道になると保育士はホイッスルで拍子をとるため、子どもたちはちょっと足早になります。途中の民家の塀にサンタのイルミネーションを張り巡らしたところでは興味津々で、通り過ぎるのに時間がかかりました。グリサラ公園に着くとすでに1歳児が先着していました。保育士や保育参加の保護者も一緒に、駆け出しました。走り回っているうちに、保育士を鬼に見立てた「鬼ごっこ」が始まっていました。ひとしきり走り回った後はお茶のみタイムです。

保育士の前に整列して帰路につきます。二人ずつ手をつないで安全に歩きます。道路に張り出した木の葉で帽子が脱げそうになった友達を、手をつないだ相方が直してあげている風景もありました。

<食事>

各自テーブルに着き配膳を待ちます。当番の子が2人、白いキャップをかぶり、配膳を手伝います。保育士が配膳テーブルの上で、食器にごはんやおかずをよそいます。当番の2人は、食事のよそわれた食器を、子どもたちの前に配膳します。「いただきまーす」の歌の大合唱でランチがスタートです。隣の子どもたちと楽しく語らいながらのランチ風景です。食事が終わった子は自分の空いた食器やトレイを、配膳テーブルに自分で片付けます。食事が終わったテーブルには、複数の歯ブラシが並んだ歯ブラシスタンドが持ち込まれ、子どもたちは自分の名前やシールの貼られた歯ブラシを取って、歯を磨きます。

<午睡準備>

保育士が部屋の片隅にカーペットを敷き、そこで各自自分で午睡に向けて着替えをします。保育士は食事テーブルを片付け、希釈消毒液で拭き掃除をし、コットを並べます。寝る前のひとは部屋の隅に集まり、床に座って保育士の手遊びに見入り、次に絵本の読み聞かせに聞き入ります。

【4、5歳児】

<散歩とランチ前>

4歳児は、今日担任の先生がお休みのため、5歳児との合同保育が主となります。散歩も合同で第二公園に行き、鬼ごっこや氷鬼で公園を走り回りました。ランチの時間が迫っていたために、公園遊びは早々に切り上げ、園に帰ってきました。帰ったら、まず手を洗い、うがいをし、トイレを済ませます。

<食事>

4、5歳児の合同ランチです。各クラスから2名ずつ、4名の当番が白い割烹着、白いキャップをまとい、静かにテーブルに着いている子どもたちのトレイの上に配膳します。熱くないおかずなどは、当番が見本のよそい方を見ながら、自分でよそっています。スープなど熱いものは保育士が器によそい、当番が運んでいきます。当番が前に立ち、今日のメニューを紹介した後、手を合わせて「いただきまーす」で始まります。友達と楽しく語らいながらのランチでした。

<午後の自由時間>

帰りの会も終わり、4、5歳児は4歳児室で合同保育です。縦に並べられたテーブルの手前には、塗り絵グループが作業しています。一番向こうのテーブルサイドは朝と同じミニブロックグループが遊んでいます。

【4歳児】

<朝の会と縄跳び体操>

4歳児の朝の会も、保育士のピアノの前で後ろ手に手を組み、良い姿勢で「朝の歌」を歌います。その後、保育士は、5歳児の部屋の境にあるカーテンウォールをたたみ、広い保育室が出現しました。今日は5歳児が近隣の小学校のお祭りに招待され午前中は不在なので、広くなった保育室を広く使って、縄跳び体操です。縄をくねくねと新体操のように揺らしながら走り回り、次に一人一人、保育士の指導で一人跳びの基本と縄の持ち方を教わっていました。

<朝の自由時間>

テーブルの上に色々な種類の塗り絵の下図が出されていて、子どもたちは自分の気に入った下図をとり、自分の前において一生懸命に色鉛筆で色を塗っています。白黒の下図は、みるみる内に総天然色のアニメに変わっていききました。長くつなげたテーブルのもう一方の端では、形の小さなブロックで車や電車をグループで作り上げていました。

【5歳児】

<朝のプログラム>

保育士が色とりどりの毛糸の束を取り上げては子どもたちに何かを質問しています。毛糸を使ったプログラム製作の説明中でしょうか。子どもたちは保育士から質問が寄せられるたびに、考えながら答えていました。

第三者評価を受審して

ブライト保育園横浜綱島では第三者を受審し、私達が出来ていなかったことや足りないところなど課題を明らかにすることが出来ました。

全職員で評価票の項目をひとつずつ話し合う作業は想像以上に大変でしたが、日々の保育をみんなで振り返ることで様々なことに気付きました。また逆に高い評価の項目については、自信に繋がりました。そして、評価報告を通じて施設をより深く理解出来たと思います。

これから、結果が公開されますが、入園を考えている方々に保育園の事を知って頂く良い機会になると思います。そして、保育園選びの参考にして頂けると幸いです。

今後はこの評価で終わることなくより良い施設運営に結びつけていきたいと思えます。

ブライト保育園 横浜綱島
園長 山岸 博子